

# 第31回北陸腎疾患・血液浄化療法研究会 (プログラム)

日時：令和5年10月28日(土) 13:30から

場所：金沢市アートホール 金沢駅前

ポルテ金沢 6F (ホテル日航隣)

金沢市本町2丁目15番1号 TEL 076-224-1660

当番世話人：金沢医科大学 古市 賢吾



## 一般演題1

13:40-14:20

座長 金沢医科大学 腎臓内科学 藤井 愛

### 1 C3腎症の一例

国立病院機構 金沢医療センター

○南部文香、宮川太郎、北川清樹

19歳、男性。X年Y月、全身性浮腫にて当院を受診した。尿・血液検査にてネフローゼ症候群（血清アルブミン1.8g/dL、尿蛋白/Cr比 5.47g/gCr）、腎生検でC3腎症と診断した。プレドニゾロンとシクロスポリンにて加療を行い、X+1年には不完全寛解I型まで改善した。しかしその後治療を自己中断し再燃した。再度、同剤を併用して加療を行っている。C3腎症には確立された治療法はなく、治療に関して若干の文献的考察を加えて報告する。

### 2 早期胃癌発見の契機になったNELL-1陽性膜性腎症の1例

金沢医科大学 腎臓内科学

○丸山貴大、藤井 愛、近藤崇史、中尾真一郎、  
野村和利、山崎恵大、岡田圭一郎、林 憲史、  
藤本圭司、横山 仁、古市賢吾

60歳台男性。X-7年右肺腺癌部分切除術が施行された。X年ネフローゼ症候群に対し腎生検を行い、糸球体基底膜の肥厚、IgGおよびC3の沈着を認め、膜性腎症と診断した。抗phospholipase A2 receptor (PLA2R) 抗体は陰性、抗Neural epidermal growth factor-like 1 protein (NELL-1) 抗体は陽性であった。上部内視鏡にて早期胃癌と診断した。膜性腎症の原因抗原の評価は、病態の把握や治療方針決定に有用となる。

### 3 自己免疫性肝炎（AIH）治療中にネフローゼ症候群を発症した1例

福井県済生会病院 内科

○越野 碩、上川康貴、五十嵐一彦、加藤珠代、  
潮木保幸

75歳女性。X-6カ月、偶発的に肝機能障害を認め、肝生検を含む精査のうえAIHと診断した。PSL導入し肝機能障害は消失したが、X-3カ月にPSL5mgまで漸減したところ下腿浮腫が出現した。X-2カ月にネフローゼ症候群（尿蛋白8.48 g/gCr、Alb2.4 g/dL）と診断し、PSLを増量した。AIH後に生じる腎障害として、既存の報告と本例の特徴について報告する。

4 腹痛を主訴とし診断が遷延した胸椎硬膜外膿瘍の透析患者例  
公立能登総合病院

○竹中亮太、山端潤也、泉谷省晶、吉村光弘

50歳代男性。糖尿病による慢性腎不全のため維持透析中。遷延する「正中～左側腹部痛」に対し単純CT等の精査、抗生剤治療を行うも改善しなかった。その後両下肢麻痺を発症しMRIにて胸椎硬膜外膿瘍と診断された。本疾患の早期診断において示唆に富む症例と考え報告する。

## 一般演題2

14:20-15:00

座長 富山県立中央病院 腎臓内科 篠崎 康之

5 Denosmab投与中に大腿骨非定型骨折来した2例  
藤田記念病院 内科

○宮崎良一、宮城恭子、平山 崇

症例1は78歳、女性。パルボウイルスB19腎症による慢性腎不全でX-2年血液透析開始。X-1年12月より左股関節痛がありX年4月左大腿骨転子下非定型骨折と診断され骨接合術を受けた。症例2は67歳女性、X-13年生体腎移植を受けた。X年6月振り返った時左大腿骨非定型骨折となり骨接合術が実施された。両者とも約5年前からDenosmabの投与を受けていた。

6 排液の遠心分離により非結核性抗酸菌を培養同定しえた腹膜透析関連腹膜炎の1例  
金沢大学附属病院 腎臓・リウマチ膠原病内科

○梶川 尚、林 果穂、南部文香、眞田 創、林 大輝、高橋芳徳、堀越慶輔、迫 恵輔、湯浅貴博、柘植俊介、南太一郎、大島 恵、蔵島 乾、中川詩織、西岡 亮、宮川太郎、伊藤清亮、遠山直志、北島信治、水島伊知郎、原 章規、坂井宣彦、清水美保、川野充弘、和田隆志、岩田恭宜

50歳台、女性。腹膜透析（PD）液の排液の混濁と細胞数増加を認め、PD関連腹膜炎と診断した。血液培養ボトルを用いた排液培養は陰性だった。遠心沈殿処理後の排液培養では、非結核性抗酸菌（NTM）を同定した。NTM感染を疑うPD関連腹膜炎では、排液の遠心沈殿処理が有用な可能性がある。



## 7 四肢に散在性の皮下結節を認めた黒色真菌症の一例

- 1) 浅ノ川総合病院 腎臓内科
- 2) 同 皮膚科
- 3) 金沢医科大学 腎臓内科学

○喜多芹菜<sup>1)</sup>、奥山 宏<sup>1)</sup>、山之内啓貴<sup>1)</sup>、袖本衣代<sup>2)</sup>、  
横山 仁<sup>3)</sup>、古市賢吾<sup>3)</sup>

症例は40歳台、女性。先天性低形成腎による末期腎不全、献腎移植後で、移植腎機能低下のためカフ型カテーテルを使用し維持血液透析中であった。透析再導入後15年で四肢に散在する米粒大の皮下結節を認め、*Pleurostomophora richardsiae*による黒色真菌症と診断した。非常に稀な真菌感染症であり、診断治療に難渋したが、外科的切除及び抗真菌薬投与で良好な経過を認めたため報告する。

## 8 肝嚢胞の縮小により腎動脈の圧迫が解除され血液透析離脱した1例

- 1) 恵寿総合病院
- 2) 金沢大学 放射線科学
- 3) 金沢医科大学 腎臓内科学

○桂 康貴<sup>1)</sup>、松田雄斗<sup>1)</sup>、熊野 奨<sup>1)</sup>、大溝知英<sup>1)</sup>、  
神野正隆<sup>1)</sup>、山崎雅英<sup>1)</sup>、井上 大<sup>2)</sup>、横山 仁<sup>3)</sup>、  
古市賢吾<sup>3)</sup>

80代女性。多発肝嚢胞を有し、腎硬化症による慢性腎不全で通院していた。X-1年に左腎動脈狭窄による腎血管性高血圧に対してステントを留置した。今回、うっ血性心不全増悪および腎機能増悪 (Cr: 8.83mg/dL) のため入院となり、血液透析を要した。レノグラムでは右腎全体の梗塞が示唆され、原因として巨大肝嚢胞による右腎動脈の圧迫が疑われた。第16病日に肝嚢胞穿刺し、腎血流の改善とともに腎機能も改善傾向となり (Cr: 3.66mg/dL)、第34病日に透析離脱となった。肝嚢胞による腎機能障害についての報告は少なく、貴重な症例として報告する。

## 一般演題3

15:10-16:00

座長 金沢大学附属病院 リウマチ・膠原病内科 伊藤 清亮

### 9 原発性マクログロブリン血症に対して血漿交換療法を併用した一例

富山市立富山市民病院 腎臓内科<sup>1)</sup>、血液内科<sup>2)</sup>

○曾根 渉<sup>1)</sup>、石坂真菜<sup>1)</sup>、倉田多鶴子<sup>1)</sup>、玉井 亨<sup>1)</sup>、  
寺崎 靖<sup>2)</sup>、大田 聡<sup>1)</sup>、石田陽一<sup>1)</sup>

症例は80代男性。3週間ほど前から両下腿浮腫、両眼の視力低下が出現した。貧血 (Hb 5.5 g/dL)、血清蛋白電気泳動でMピークを認め、当院を紹介された。骨髄検査でリンパ形質細胞性リンパ腫/原発性マクログロブリン血症と診断した。過粘稠度症候群に伴う両側網膜中心静脈閉塞症を認めた。BDR療法 (ボルテゾミブ、デキサメタゾン、リツキシマブ) に加え、計5回の単純血漿交換療法を併用した。IgMは7,817→1,391 mg/dLと低下がえられ、視力低下の自覚症状も改善した。

### 10 感染性心内膜炎治療後の腎障害再燃を契機にHIV感染が判明した1例

富山大学 第二内科

○掛下幸太、近 聡子、横山真伍、藤岡勇人、山崎秀憲、  
小池 勤、絹川弘一郎

47歳男性。僧帽弁閉鎖不全と疣贅付着、連鎖球菌菌血症を来し、感染性心内膜炎 (IE) と診断。同時に血尿・蛋白尿と腎機能障害、低補体血症を認め、IE関連腎炎が疑われた。抗菌薬治療と弁置換術後に腎障害は改善したが、5ヵ月後に再燃した。IE再発は認めず、HIV感染と判明。抗HIV療法により腎障害は改善したことから、腎障害再燃はHIV感染に関連したものと考えられた。

### 11 リチウム中毒の治療後に悪性症候群を発症した1例

石川県立中央病院 腎臓内科・リウマチ科

○山岸将大、堀田真琴、額 裕海、藤井 博

80歳女性、双極性障害で通院。入院24日前より炭酸リチウム (Li) 200mgを内服開始。4日前より活動性低下、経口摂取困難認めLi中毒が疑われ入院。意識障害あり、Cr 2.8mg/dL、炭酸Li濃度は1.76mEq/Lであった。血液透析で炭酸Li濃度は0.2 mEq/Lに低下するも、入院6日後に高熱、筋固縮、振戦とともに意識障害悪化を認め、悪性症候群と診断した。炭酸Liが悪性症候群の発症に関連することがあり、Li中毒との鑑別に注意が必要である。

12 蜂刺傷により横紋筋融解症、多臓器不全を発症した一例

公立松任石川中央病院 腎高血圧内科

○竹内 舞、越智雅彦、嶋口優太、松田優治、高澤和也

80歳台、男性。X-3日に、スズメバチに77ヶ所刺傷され、近医にて対症療法を受けた。翌日から無尿状態となり、X日に当院受診。CK 34993 U/L、Cr 7.56 mg/dLの横紋筋融解症と急性腎障害、急性肝障害などを認め、持続的血液濾過透析などの集学的治療を施行した。一般的には蜂毒によるアレルギー反応が多いが、細胞障害性のある蜂毒による横紋筋融解や臓器障害にも注意が必要である。

13 安定したSLE（全身性エリテマトーデス）経過中にAIHA（自己免疫性溶血性貧血）を発症し、激しい経過を辿った一例

1) 金沢大学附属病院 腎・リウマチ膠原病内科

2) 金沢大学附属病院 血液内科

3) 金沢大学附属病院 輸血部

4) 金沢大学附属病院 集中治療部

○笠原菜摘<sup>1)</sup>、柘植俊介<sup>1)</sup>、吉田晶代<sup>2)</sup>、尾後貫優香<sup>3)</sup>、佐藤祐樹<sup>3)</sup>、赤松洋光<sup>1)</sup>、森 杏里<sup>1)</sup>、齋藤寛晃<sup>1)</sup>、坂田 玲<sup>1)</sup>、眞田 創<sup>1)</sup>、林 大輝<sup>1)</sup>、梶川 尚<sup>1)</sup>、高橋芳徳<sup>1)</sup>、迫 恵輔<sup>1)</sup>、湯浅貴博<sup>1)</sup>、堀越慶輔<sup>1)</sup>、南太一朗<sup>1)</sup>、藏島 乾<sup>1)</sup>、西岡 亮<sup>1)</sup>、中川詩織<sup>1)</sup>、大島 恵<sup>1)</sup>、原 怜史<sup>1)</sup>、伊藤清亮<sup>1)</sup>、水島伊知郎<sup>1)</sup>、北島信治<sup>1)</sup>、遠山直志<sup>1)</sup>、原 章規<sup>1)</sup>、坂井宣彦<sup>1)</sup>、清水美保<sup>1)</sup>、谷口 巧<sup>4)</sup>、川野充弘<sup>1)</sup>、岩田恭宣<sup>1)</sup>

罹患歴45年のSLEが背景にある77歳女性。直近20年間は少量ステロイドのみで安定していたが、突如重症AIHAを発症した。ステロイドパルス療法を開始したが日単位で溶血が進行し、第3病日より複数の急性血液浄化療法を行うも多臓器不全で第6病日に死亡した。抗赤血球抗体が予後不良であるIgG3サブクラスであることが後日判明した。重症AIHAでの急性血液浄化療法の有用性を文献的考察を加えて報告する。

## テーマ演題

16:00-16:45 (献腎移植)

座長 金沢医科大学 腎臓内科学 古市 賢吾

### 14 心停止下献腎移植後にサイトメガロウイルス感染症を来した一例

富山県立中央病院 腎臓・高血圧内科

○牧石祥平、小川晃寛、海古井大智、清水英子、  
舟本智章、篠崎康之

富山県立中央病院 泌尿器科

酒徳直明、吉田 司、武澤雄太、島 崇、瀬戸 親

50歳代女性。メサンギウム増殖性腎炎による末期腎不全でX-20年に腹膜透析導入され、X-12年より血液透析へ移行となった。X年に心停止下献腎移植を施行された。術後経過は良好で、術後11日目に透析離脱し、術後22日目に退院となった。術後51日目に発熱を主訴に救急外来を受診した。サイトメガロウイルスによる腎機能障害、気管支炎、大腸炎、網膜炎の診断でガンシクロビルによる治療を行った。その後の経過は良好であり、献腎移植の経過も含め報告とする。

### 15 自院の脳死ドナーからの献腎移植の一例

1 福井大学 腎臓内科

2 福井大学 泌尿器科

○糟野健司<sup>1</sup>、多賀峰克<sup>2</sup>、小林久人<sup>2</sup>、関 雅也<sup>2</sup>、  
吹上優介<sup>2</sup>、福島正人<sup>2</sup>、寺田直樹<sup>2</sup>、岩野正之<sup>1</sup>

レシピエントは63歳男性、体重60kg。慢性糸球体腎炎（腎生検なし）で、2000年から血液透析、同年より献腎移植登録。前日に入院し2023/07/29に献腎移植を施行した。ドナーはクモ膜下出血で脳死判定を受けた50歳台の当院入院男性、体重70kg。温阻血時間0分、総阻血時間4時間43分、初尿確認19分、血清Cre1.1台、蛋白尿陰性でPOD22に退院した。

16 ドナー腎動脈瘤を形成し移植した心停止下献腎移植の1例

富山県立中央病院

泌尿器科

腎臓内科

心臓血管外科

○武澤雄太、酒徳直明、吉田 司、島 崇、瀬戸 親

小川晃寛、清水英子、海古井大智、牧石祥平、  
舟本智章、篠崎康之

関 功二、上田哲之

レシピエントは40歳代男性。IgA腎症と診断され、1990年代に維持血液透析導入となった。その後母親をドナーとする生体腎移植術を施行されたが、2000年代から血液透析再導入となっていた。ドナーは40歳代女性で、心室細動による蘇生後脳症で脳死状態と診断された。ドナー右腎には11mm大の動脈瘤を認めており、バックテーブルにてまずこれを形成し、移植することとした。術後17日目に透析離脱し、24日目に退院となった。

特別講演

17:00-18:00

座長 金沢医科大学 古市 賢吾

「拡大する腎臓病学」

京都大学大学院医学研究科 腎臓内科学 教授

柳田 素子 先生



# // より良い 明日へ

バイエルはイノベーションや治療法の提供を通じて、  
患者さんのための治療に変革をもたらす  
持続可能な取り組みを推進しています。  
私たちの目的 "Science for a better life" に沿って、  
人々のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献していきます。

バイエル薬品株式会社 <https://pharma.bayer.jp>

Science for a better life

PP-GEN-JP-0349-29-11



たった一度の  
いのちと  
歩く。



**KYOWA KIRIN**

私たちの志  検索

2019年7月作成



**MIRCERA**<sup>®</sup>  
epoetin beta pegol

持続型赤血球造血刺激因子製剤  
生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品<sup>注</sup>

薬価基準収載

**ミルセラ**<sup>®</sup> 注シリンジ

12.5 $\mu$ g、25 $\mu$ g、50 $\mu$ g、75 $\mu$ g、  
100 $\mu$ g、150 $\mu$ g、200 $\mu$ g、250 $\mu$ g

MIRCERA<sup>®</sup>  
エポエチン ベータ ペゴル (遺伝子組換え) 注  
⑧ F. ホフマン・ラ・ロシュ社 (スイス) 登録商標

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、製品添付文書をご参照下さい。  
<https://www.chugai-pharm.co.jp/>

製造販売元 **中外製薬株式会社**  
〒100-8324 東京都中央区日本橋室町 2-1-1

ロシュグループ

【文献請求先及び問い合わせ先】 メディカルインフォメーション部  
TEL. 0120-189-706 FAX. 0120-189-705

【販売情報提供活動に関する問い合わせ先】  
<https://www.chugai-pharm.co.jp/guideline/>

2019年12月作成



選択的DPP-4阻害薬  
[2型糖尿病治療薬]

薬価基準収載

**エクア錠50mg**

処方箋医薬品 (注意-医師等の処方箋により使用すること)

Equa

ビルダグリブチン錠

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

製造販売 (文献請求先及び問い合わせ先)

**ノバルティス ファーマ株式会社**  
東京都港区虎ノ門1-23-1 〒105-6333

ノバルティス ダイレクト 販売情報提供活動に関するご意見  
TEL: 0120-003-293 TEL: 0120-907-026  
受付時間: 月～金 9:00～17:30 (祝日及び当社休日を除く)

販売 (文献請求先及び問い合わせ先)

**住友ファーマ株式会社**  
〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-6-8

〈製品に関するお問い合わせ先〉

くすり情報センター

**TEL 0120-034-389**

受付時間 / 月～金 9:00～17:30 (祝・祭日を除く)  
<https://sumitomo-pharma.jp/>

2022年3月作成



選択的SGLT2阻害剤-2型糖尿病・慢性心不全治療剤- 薬価基準収載

**ジャディアンス®錠10mg**

選択的SGLT2阻害剤-2型糖尿病治療剤-

**ジャディアンス®錠25mg**

処方箋医薬品 (注意-医師等の処方箋により使用すること)

Jardiance

エンパグリフロジン製剤

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む  
注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

製造販売  
日本ペーリンガー・インゲルハム株式会社  
東京都品川区大崎2丁目1番1号  
資料請求先: D1センター  
0120-189-779

販売提携  
日本イーライリリー株式会社  
神戸市中央区磯上通5丁目1番28号

 **Boehringer  
Ingelheim**

*Lilly*

2022年4月作成 PP-JAR-JP-1621







HIF-PH阻害剤 一腎性貧血治療剤一 薬価基準収載

**バフセオ<sup>®</sup>** 錠 150mg  
300mg  
VAFSEO<sup>®</sup> Tablets 150mg, 300mg (パダデустット錠)

劇薬 処方箋医薬品 (注意一医師等の処方箋により使用すること)

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「警告・禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。

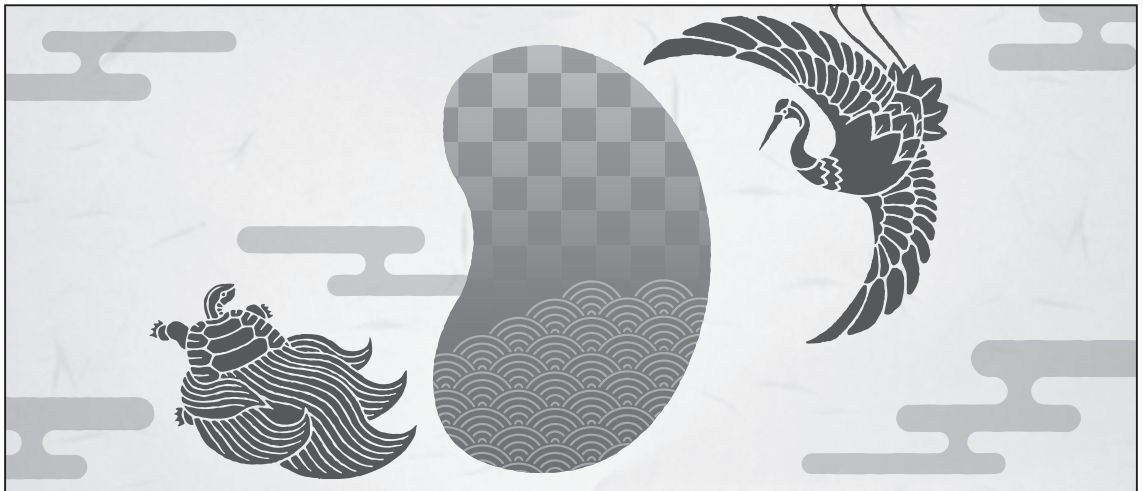


製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)  
**田辺三菱製薬株式会社**  
大阪市中央区道修町3-2-10



プロモーション提携  
**扶桑薬品工業株式会社**  
大阪市城東区森之宮二丁目3番11号

2023年7月作成



HIF-PH阻害薬 腎性貧血治療薬 薬価基準収載

**エナロイ<sup>®</sup>** 錠 2mg・4mg

ENAROY<sup>®</sup> tablets 2mg・4mg (エナロデустット錠)

劇薬、処方箋医薬品<sup>注1)</sup>

注) 注意一医師等の処方箋により使用すること

「効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報」等は、電子化された製品添付文書をご参照ください。



販売元  
**鳥居薬品株式会社**  
東京都中央区日本橋本町3-4-1



製造販売元  
**日本たばこ産業株式会社**  
東京都中央区日本橋本町3-4-1

文献請求先及び問い合わせ先  
鳥居薬品株式会社 お客様相談室  
TEL 0120-316-834  
FAX 03-3231-6890

2022年11月作成



アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬(ARNI)

薬価基準収載

**エンレスト錠** 50mg  
100mg  
200mg

Entresto® Tablets サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物錠

処方箋医薬品 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、  
禁忌を含む注意事項等  
情報等につきましては  
電子添文をご参照ください。

製造販売

(文献請求先及び問い合わせ先)

**ノバルティス ファーマ株式会社**  
東京都港区虎ノ門1-23-1 〒105-6333

ノバルティス ダイアレクト

TEL: 0120-003-293

販売情報提供活動に関するご意見

TEL: 0120-907-026

受付時間: 月～金 9:00～17:30 (祝祭日及び当社休日を除く)

提携

**大塚製薬株式会社**  
東京都千代田区神田司町2-9

文献請求先及び問い合わせ先

**大塚製薬株式会社 医薬情報センター**

〒108-8242 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー

ENR00006IH0003

2023年2月作成

ER2302024

## 東レの急性血液浄化製品ラインナップ



東レ独自の NV ポリマー技術により性能劣化を防ぎ  
持続性の向上を図りました

**HEMOFEEL® SNV**

高度管理医療機器

持続緩徐式血液濾過器

承認番号: 23000BZX00297000

販売名: ヘモフィール SNV



東レ独自の膜設計により、  
各種の病因物質除去特性を有します

**HEMOFEEL® CH**

高度管理医療機器

持続緩徐式血液濾過器

承認番号: 20300BZZ00624000

販売名: ヘモフィール CH

グラム陰性菌感染症あるいはエンドトキシン血症に伴う  
重症病態の改善に

**トレミキシン®**

高度管理医療機器

エンドトキシン除去向け吸着型血液浄化用浄化器

承認番号: 20500BZZ00926000

販売名: トレミキシン

使用目的または効果、使用方法、警告・禁忌及び使用上の注意等については製品添付文書をご参照ください。



トレミキシン専用  
ウェブサイト

**TORAY**  
Innovation by Chemistry

製造販売業者: 東レ株式会社 <https://www.toray.co.jp/>

販売業者: 東レ・メディカル株式会社 <https://www.toray-medical.com/>



## 参加者へのご案内

### 個人情報の保護について

Web講演の録画や録音、写真撮影（画面のスクリーンショット含む）は決して行わないでください。

個人情報に関する内容に関しては本人・団体の許可なく、学会の中で知り得たことを外部に情報拡散しないでください。

\*発表7分、討論3分をお願いします。（テーマ演題は、発表10分、討論5分）

\*パソコン(Windowsのみ)発表とします。Windows10で作成したPowerPoint 2013以降のfileをUSBフラッシュメモリーもしくはCD-Rでご持参下さい。

\*会場費1,000円をお支払い下さい。

\*客席内は飲食禁止です。（ホワイエ・エレベーターホールは可）

\*駐車場の割引券の発行はありません。

\*単位について

日本透析医学会（5単位）

日本泌尿器科学会（3単位）

日本腎臓学会専門医制度（1単位）

日本腎不全看護学会（3単位）

以上の単位が認定されます。

### 北陸腎疾患・血液浄化療法研究会事務局

〒920-0293

河北郡内灘町大学1-1

金沢医科大学 腎臓内科学教室内